

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 27,000~28,400円 TOPIX 1,800~1,880
- * 期待材料 新型コロナの感染拡大抑止 米インフラ投資 米追加財政政策 経済正常化
- * 不安材料 新型コロナの感染再拡大 米金利上昇 ロックダウンの長期化

年明け最初の焦点は、5日に投開票される米ジョージア州の上院決戦投票であった。民主党が2議席とも勝利した場合は、民主党がホワイトハウスと上下院を押さえる「オールブルー」となる。その際は、更に追加となる経済対策への期待と、企業や富裕層への増税懸念が入り交じり、株式市場の見通しが難しくなるとの見方で、年明けの米国相場は不安定な始まりとなった。財政政策が拡張された際は、米長期金利が上昇する見通しで、成長株であるハイテク株にとって悪材料になる可能性がある一方で、景気敏感株へ需要拡大の期待が増すことになる。また足元では新型コロナ感染者数が増加を続け、米国の一日当たりの新規感染者数は30万人を超える日があり、ドイツやギリシャがロックダウン期間の延長を発表し、イギリスがイングランド全土のロックダウンを発表するなど、アメリカやイギリスでワクチン接種は開始されたものの感染拡大が止まらない状況になっている。日本でもコロナの感染が拡大しており、7日に一日当たりの感染者数が全国で過去最多の7,500人を超えとなったほか、東京都単独でも2,447人となったことなどから、政府は首都圏の1都3県を対象に緊急事態宣言を出すことを決めた。緊急事態宣言による経済の先行き懸念から先週前半の市場は調整ムードとなり、景気敏感株が売られた。巣ごもり関連やクラウド関連企業の多いマザーズ銘柄が物色される場面があったものの、米国金利の上昇を受けマザーズ銘柄は再度下落に転じるなど市場の値動きは大きくなってきている。一方で、7日木曜日に「オールブルー」が確実になったとの報道を受け、インフラ拡大の期待から米国で景気敏感株に買いが入ると、日本でも景気敏感株を中心に大きく買戻しが入り、週前半の調整分を取り戻す展開となった。その他、「iPhone」などの電子機器の受託製造を手掛ける台湾の鴻海（ホンハイ）精密工業が発表した12月の売上が過去最高水準となり「iPhone」の好調がうかがえたほか、昨年12月には同社会長がEV関連事業は「21年前半は極めて好調になる」との見通しを示した経緯もあり、スマートフォンやEV向け電子部品の業績期待が高まった。バイデン政権による米中間の緊張緩和への期待もある。ワクチン普及による経済正常化と財政、インフラ投資拡大への期待に対し、コロナ感染拡大と米金利の上昇の懸念があり、期待と懸念が入り交じる変動率の高い相場が続くと思われる。（志田憲太郎）

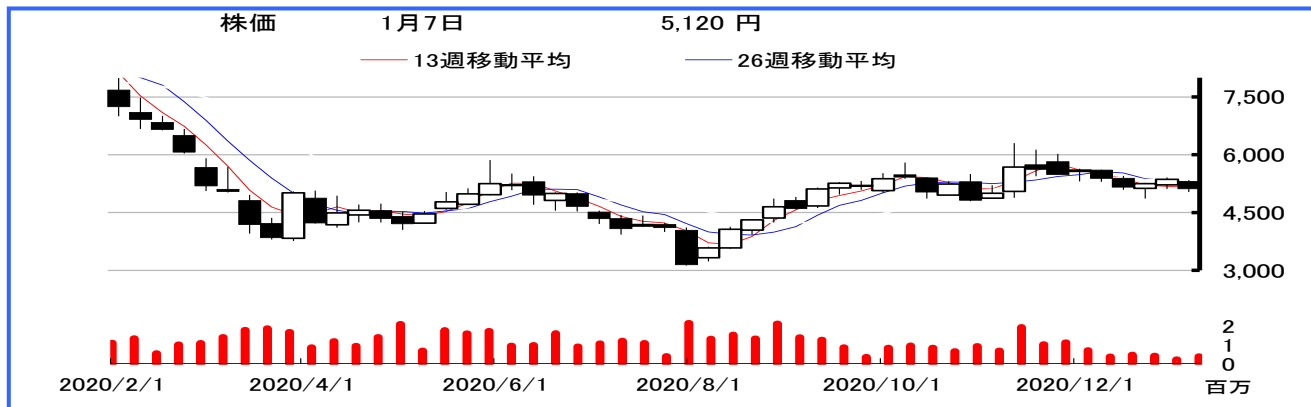
今週の予定

	国内	海外
1/12(火)	12月景気ウォッチャー調査(14:00)	[印]11月鉱工業生産(21:00)
13(水)	パナソニック GP(2168)2Q決算	[米]12月消費者物価指数(22:30)
14(木)	11月機械受注(8:50) ファーストリテイリング(9983)1Q決算	[中]12月貿易収支 [台]TSMC4Q決算
15(金)	第4回資産運用EXPO(~17日) 串カツ田中(3547)本決算	[米]12月小売売上高(22:30) [米]12月鉱工業生産(23:15)
16(土)	大学入学共通テスト(~17日)	[独]独与党CDU党首選
17(日)	阪神・淡路大震災から26年	湾岸戦争開戦から30年

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 寿スピリッツ (2222) 東証1部



	19年3月期 (百万円) 前年比	20年3月期 (百万円) 前年比	21年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(1/7)	5,120 円
売上収益	40,768 9.1%	45,180 10.8%	23,140 -48.8%	業種	食料品
営業利益	5,975 19.2%	6,454 8.0%	-3,400 —	時価総額(億円)	1,593
経常利益	6,012 19.1%	6,475 7.7%	-1,370 —	PER(予想)	— 倍
当期純利益	3,972 12.4%	4,100 3.2%	-900 —	PBR(実績)	8.6 倍
EPS(円)	127.6	131.8	-28.9	ROE(実績)	20.8 %
配当金(円)	40.0	40.0	30.0	配当利回り(予想)	0.6 %
				担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

1952年に鳥取県米子市で寿製菓を設立し、飴菓子などの製造から事業を開始。1959年に観光土産用菓子部門に進出。販売子会社を順次設置し、全国にお土産用お菓子の販売網を拡大。1998年に子会社のケイセイセイが北海道小樽市に「小樽洋菓子舗 LeTAO」を設置し、プレミアムギフトスイーツに進出。2011年には首都圏でプレミアムギフトスイーツを展開するため、港区にシュクレイを設立し、首都圏のデパ地下や駅ビル、商業施設、空港などで「東京ミルクチーズ工場(ミルクとチーズを使った洋菓子)」「ザ・メープルマニア(メープルを使った洋菓子)」「フランセ(ミルクフィユ)」など様々なブランドを展開している。20年3月期の売上高構成比はシュクレイが31.8%、ケイセイセイが24.9%、山陰と近畿でお土産用お菓子を販売する寿製菓・但馬寿が20.7%、販売子会社が12.1%、九州などでお土産用お菓子を展開する九十九島グループが8.9%になっている。

21年3月期上期決算は前年同期比64.7%減収、34.2億円の営業赤字に転落。外出自粛でお土産用お菓子、プレミアムギフトスイーツの需要が減少。首都圏での需要回復の遅れやインバウンド売上の消失が痛手になった。1Qは前年同期比74.4%減収、24.1億円の営業赤字になったが、自宅に持ち帰って消費する自家需要、その場で食べるその場需要、通販、高速道路のサービスエリアなどでの販売が回復してきており、2Qは55.9%減収、10.1億円の営業赤字となり赤字幅は縮小。8月には東京グランスタへ2店、東京ギフトパレットへ5店の新規出店を実施し、プレミアムギフトスイーツが世界一売れる場所と位置付ける東京駅での出店を強化。コロナ禍でも多くの人々の来店が期待できる好立地店舗での販売強化や、クリスマスやバレンタインなどの季節需要の取り込みにより、下期は前年同期比33.2%減収にとどめ2,000万円の営業黒字へ転換を目指す方針。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

2021年1月12日

特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価 (1/6)	今期			来期			
				決算期 年/月	経常利益 (会社) [百万円]	経常利益 (東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済予 想と 会社予想	決算期 年/月	経常利益 (東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想
1734	北弘電	札幌	4,010	21/3	170	520	205.9%	22/3	590	13.5%
4649	大成	名2	775	21/3	240	700	191.7%	22/3	720	2.9%
3848	データアプリ	東JQ	1,621	21/3	22	50	127.3%	22/3	250	400.0%
6092	エンパイオH	東マ	627	21/3	183	400	118.6%	22/3	500	25.0%
3140	アイデアインタ	東JQ	860	21/6	255	550	115.7%	22/6	580	5.5%
6249	GCジョイコ	東JQ	1,200	21/3	400	800	100.0%	22/3	1,300	62.5%
2425	ケアサービス	東JQ	557	21/3	69	135	95.7%	22/3	210	55.6%
6867	リーダー電子	東JQ	724	21/3	85	160	88.2%	22/3	400	150.0%
6150	タケダ機械	東JQ	2,485	21/5	40	75	87.5%	22/5	720	860.0%
2683	魚喜	東2	1,014	21/2	80	150	87.5%	22/2	180	20.0%
7399	ナンシン	東JQ	540	21/3	206	370	79.6%	22/3	700	89.2%
6158	和井田	東JQ	1,093	21/3	256	450	75.8%	22/3	920	104.4%
6832	アオイ電子	東2	2,071	21/3	700	1,220	74.3%	22/3	2,100	72.1%
3439	三ツ知	東JQ	2,289	21/6	105	180	71.4%	22/6	530	194.4%
7045	ツクイSTF	東JQ	1,322	21/3	53	90	69.8%	22/3	160	77.8%
7923	トーイン	東JQ	561	21/3	30	50	66.7%	22/3	100	100.0%
4017	クリーム	東マ	4,850	21/2	144	230	59.7%	22/2	500	117.4%
2981	ランディクス	東マ	1,572	21/3	372	560	50.5%	22/3	710	26.8%
2218	日糧パン	札幌	2,049	21/3	100	150	50.0%	22/3	180	20.0%
1436	フィット	東マ	1,516	21/4	200	300	50.0%	22/4	450	50.0%
3798	ULSグループ	東JQ	3,605	21/3	1,000	1,500	50.0%	22/3	1,650	10.0%
6246	Tスマート	東2	1,006	21/3	400	600	50.0%	22/3	1,030	71.7%
6131	浜井産	東2	1,255	21/3	220	330	50.0%	22/3	400	21.2%
3138	富士山MS	東マ	1,050	20/12	271	400	47.6%	21/12	440	10.0%
4019	スタメン	東マ	1,532	20/12	7	10	42.9%	21/12	80	700.0%
6625	JALCO	東JQ	244	21/3	900	1,280	42.2%	22/3	3,800	196.9%
2907	あじかん	東2	821	21/3	350	490	40.0%	22/3	780	59.2%
6912	菊水電子	東JQ	788	21/3	130	180	38.5%	22/3	410	127.8%
6897	ツインバード	東2	1,715	21/2	130	180	38.5%	22/2	330	83.3%
6549	DMソリュ	東JQ	3,820	21/3	445	600	34.8%	22/3	700	16.7%
3830	ギガプライズ	名セント	1,925	21/3	1,529	2,050	34.1%	22/3	2,200	7.3%
3058	三洋堂HD	東JQ	911	21/3	300	400	33.3%	22/3	420	5.0%
4366	ダイトーケミ	東2	929	21/3	600	800	33.3%	22/3	950	18.8%
3623	ピリングシス	東マ	1,210	20/12	158	210	32.9%	21/12	290	38.1%
3810	サイステップ	東2	719	21/5	400	530	32.5%	22/5	550	3.8%
3021	PCNET	東2	2,337	21/5	500	660	32.0%	22/5	800	21.2%
4166	かっこ	東マ	5,250	20/12	91	120	31.9%	21/12	150	25.0%
3399	山岡家	東JQ	1,955	21/1	350	460	31.4%	22/1	590	28.3%
5189	桜ゴム	東2	4,065	21/3	137	180	31.4%	22/3	580	222.2%
5997	協立エアテク	東JQ	603	20/12	510	670	31.4%	21/12	770	14.9%
8903	サンウッド	東JQ	507	21/3	260	340	30.8%	22/3	700	105.9%
3913	sMedio	東マ	1,024	20/12	69	90	30.4%	21/12	120	33.3%
1844	大盛工業	東2	193	21/7	307	400	30.3%	22/7	440	10.0%
7689	コバ	東マ	5,990	21/3	893	1,160	29.9%	22/3	1,230	6.0%
9976	セキチュー	東JQ	1,676	21/2	850	1,100	29.4%	22/2	1,200	9.1%
4673	川崎地質	東JQ	2,623	20/11	210	270	28.6%	21/11	280	3.7%
9640	セゾン情報	東JQ	2,240	21/3	2,500	3,200	28.0%	22/3	3,600	12.5%
3477	フォーライフ	東マ	1,033	21/3	290	370	27.6%	22/3	470	27.0%
7090	リグア	東マ	3,160	21/3	220	280	27.3%	22/3	290	3.6%
3768	リスモン	東2	2,430	21/3	550	700	27.3%	22/3	750	7.1%

* 会社四季報新春号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、かつ東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について1/6に検索したところ360銘柄が該当した。ここでは、その中から今期経常利益予想について会社発表を東洋経済が上回る企業の乖離率上位50社を掲載している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990%（ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室